

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年3月31日

提出区分	実績	整理番号	5	課題区分	C		
横断的な課題	大規模地震・噴火・水害等の発生に備えた対策の充実・強化						
地域重点政策	大規模地震・噴火・水害等の発生に備えた対策の充実・強化					松本地域振興局	
実施機関	松本地域振興局総務管理課			担当課	所属	松本地域振興局総務管理課	
事業名	火山防災意識向上事業				電話	0263-40-1903	
					E-mail	matsuchi-kenmin@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	住民の火山防災への意識向上と「信州 火山防災の日」の周知					
	現状と課題	<p>長野県は、全国でも有数の火山県であり、過去、幾度となく火山災害が発生し、御嶽山では平成26年9月27日の噴火で多数の登山者が巻き込まれる甚大な被害をもたらした。</p> <p>三つの活火山を有する松本管内においても、火山防災に係る意識の向上と防災対策の一層の推進に継続的に取り組み、併せて火山及び周辺地域の魅力発信による地域振興に寄与するため制定された「信州 火山防災の日」を周知していく。</p> <p>管内三つの活火山のうち、気象庁による常時観測の対象であり、協議会が設けられているのは焼岳と乗鞍岳である。焼岳は令和4年度と6年度に噴火警戒レベルが2に引き上げられたこともあり、火山防災への意識は近年高く、資料等の需要が高まっている。一方、乗鞍岳については平穏であるが故に防災意識向上の契機が少ない状況であり、地域住民に対する啓発が求められている。</p>					
	内容 (変更後の内容)	<p>○焼岳火山防災マップの更新 令和元年度に焼岳火山防災マップを制作したが、令和6年度に特にレベル3引上げ時における対応方法などが修正された。焼岳への登山者、上高地への来訪者、周辺住民等への啓発意識向上のため基礎資料と位置付ける本マップを作成し、活用を進めるとともに、令和6年度に活動火山対策特別措置法の一部が改正され創設された8月26日が「火山防災の日」であることと9月27日の「信州 火山防災の日」についての記載を追加し、周知を図る。</p> <p>○乗鞍岳火山防災マップの作成・配布 乗鞍岳周辺地域の住民向けに、乗鞍岳火山防災マップを作成し、配布する。 マップは、万一噴火等火山災害が発生した際の避難、対処方法や火山という観点からの乗鞍岳及び火山そのものについての見識を高める内容とする。</p>					
事業期間	令和7年8月		～	令和8年3月			
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	焼岳火山防災マップの作成・配布	マップの作成・配布	99,990	4,000部			
	乗鞍岳火山防災マップの作成・配布	リーフレットの作成・配布	97,680	3,000部			
	合計		197,670				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	焼岳火山防災マップ:松本市上高地地区の観光施設等への配布		20カ所	5カ所	<input type="radio"/> 達成 <input checked="" type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成		
	乗鞍岳火山防災マップの作成・配布		観光施設(10ヶ所)、(管内)令和8年度登山実施校への配布	観光・宿泊施設70か所以上に配布			

事業実績・成果	<p>【焼岳火山防災マップ】 今年度は大正池誕生110周年パネル展(主催:焼岳火山防災協議会)の会場(上高地インフォメーションセンター・他3カ所)や火山学会開催に合わせキッセイ文化ホールで配布を実施した。観光施設等への配布箇所の目標値については、観光施設等での配布から大正池誕生110周年パネル展会場及び火山学会の会場での配布変更により目標達成とならなかったが、上記の会場で配布することで、より登山に造詣が深い層に、他事業とあわせ多面的な形で焼岳の状況を伝え、安全登山の啓発を行うことができた。</p> <p>【乗鞍岳火山防災マップ】 乗鞍火山防災協議会の会員である「のりくら観光協会」を通じて、加盟している観光・宿泊施設に配布したことで多くの配布箇所を確保し、目標を上回った。また、住民でもある施設代表者への周知に加え、施設内へ掲示や利用者に配付するよう依頼し、より目につきやすい、手に取りやすい形で、乗鞍岳の活火山としての特性を伝えることができ、乗鞍岳及び火山そのものについての見識を高めることにつながった。マップを配布することで登山者、観光客及び地元住民に対し、「乗鞍岳が活火山であること」の啓発を行うことができ、火山防災意識の向上につなげることができた。</p>
今後の方向性	<p>乗鞍岳のマップについては次年度5、6月頃学校登山を実施する中学校への配布を予定、焼岳のマップは観光施設に配布予定。今後も登山の際のヘルメットの必要性など、安全登山の啓発や活火山であることを住民に周知することは必要な施策であり、マップ作成・配布に限らず継続していく。</p>